

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 5 月 18 日 (2017.5.18)

【公開番号】特開 2013-136749 (P2013-136749A)

【公開日】平成 25 年 7 月 11 日 (2013.7.11)

【年通号数】公開・登録公報 2013-037

【出願番号】特願 2012-277196 (P2012-277196)

【国際特許分類】

C 08 L 21/00 (2006.01)

B 60 C 1/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 21/00

B 60 C 1/00 A

B 60 C 1/00 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 29 日 (2017.3.29)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

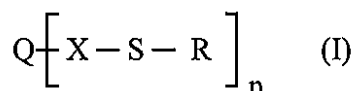
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゴム組成物を含むトレッドを特徴とする空気入りタイヤであって、  
前記ゴム組成物は、  
 ジエン系エラストマーと式 I :

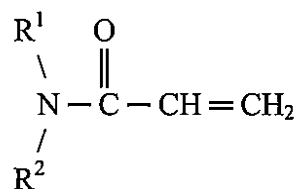
【化 1】



[ 式中、Q は、1 個又は複数個の炭素原子と、所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む n 価有機基であり；

X は、式：

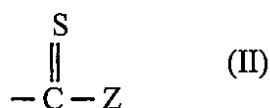
【化 2】



{ 式中、R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> は、水素、C 2 ~ C 6 直鎖アルキル、C 2 ~ C 6 分枝アルキル、及び C 3 ~ C 6 シクロアルキルからなる群から独立に選ばれるが、ただし、R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> の少なくとも一つは水素でない } のモノマーから誘導される、下限臨界溶液温度を示すことができる二価ポリマー基であり；

R は、独立に、水素原子又は式 (II) :

## 【化 3】



{ 式中、Z は、1 個又は複数個の炭素原子と、所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む一価有機基である } の一価基であり；そして

n は 2 以上の整数である ]

の化合物との反応生成物を含む、  
空気入りタイヤ。

## 【請求項 2】

前記反応生成物が、少なくとも一つの R を式 I の化合物とジエン系エラストマーとの間の共有結合で置換することを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

## 【請求項 3】

ジエン系エラストマーが、溶液重合スチレン - ブタジエンゴム、乳化重合スチレン - ブタジエンゴム、ポリブタジエン、天然ポリイソプレンゴム、及び合成ポリイソプレンゴムからなる群から選ばれることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の空気入りタイヤ。

## 【請求項 4】

X が、ポリ( N - イソプロピルアクリルアミド)、ポリ( N - シクロプロピルアクリルアミド)、及びポリ( N , N - ジエチルアクリルアミド) からなる群から選ばれるポリマーから誘導されることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の空気入りタイヤ。

## 【請求項 5】

下限臨界溶液温度を示すことができるポリマー基 X が、約 500 ~ 約 20000 g / g mol の範囲の重量平均分子量を有することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の空気入りタイヤ。

## 【請求項 6】

下限臨界溶液温度を示すことができるポリマーが、約 0 ~ 約 100 の範囲の下限臨界溶液温度を有することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の空気入りタイヤ。

## 【請求項 7】

ゴム組成物が 0 . 5 ~ 10 phr の式 I の化合物を含んでなることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の空気入りタイヤ。

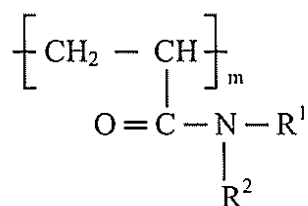
## 【請求項 8】

n が 2 であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の空気入りタイヤ。

## 【請求項 9】

X が、式：

## 【化 4】



[ 式中、R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> は、水素、C2 ~ C6 直鎖アルキル、C2 ~ C6 分枝アルキル、及び C3 ~ C6 シクロアルキルからなる群から独立に選ばれるが、ただし、R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> の少なくとも一つは水素でなく、m は炭化水素鎖の重合度である ] のポリマー基であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の空気入りタイヤ。

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 0 7

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 7 】

[ 式中、Q は、1 個又は複数個の炭素原子と、所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む n 価有機基 であり；

X は、下限臨界溶液温度を示すことができる二価ポリマー基であり；

R は、独立に、水素原子又は式 (II)：

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 0 9

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 9 】

{ 式中、Z は、1 個又は複数個の炭素原子と、所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む 一価有機基 である } の一価基であり；そして

n は 1 以上の整数である ]

の化合物を含む。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 1 4

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 4 】

[ 式中、Q は、1 個又は複数個の炭素原子と、所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む n 価有機基 であり；

X は、下限臨界溶液温度を示すことができる二価ポリマー基であり；

R は、独立に、水素原子又は式 (II)：

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 1 6

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 6 】

{ 式中、Z は、1 個又は複数個の炭素原子と、所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む 一価有機基 である } の一価基であり；そして

n は 1 以上の整数である ]

の化合物を含む加硫可能なゴム組成物を開示する。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 1 9

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 9 】

[ 式中、Q は、1 個又は複数個の炭素原子と、所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む n 価有機基 であり；

X は、下限臨界溶液温度を示すことができる二価ポリマー基であり；

R は、独立に、水素原子又は式 (II)：

## 【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

{ 式中、Z は、1 個又は複数個の炭素原子と、所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む一価有機基である } の一価基であり；そして

n は 1 以上の整数である ]

の化合物を含む。

## 【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0104

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0104】

[ 式中、Q は、1 個又は複数個の炭素原子と所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む n 価有機基であり；

X は、下限臨界溶液温度を示すことができる二価ポリマー基であり；

R は、独立に、水素原子又は式 (II)：

## 【誤訳訂正 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0106

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0106】

{ 式中、Z は、1 個又は複数個の炭素原子と、所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む一価有機基である } の一価基であり；そして

n は 1 以上の整数である ]

の化合物を含む加硫可能なゴム組成物。

## 【誤訳訂正 10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0109

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0109】

[ 式中、Q は、1 個又は複数個の炭素原子と所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む n 価有機基であり；

X は、下限臨界溶液温度を示すことができる二価ポリマー基であり；

R は、独立に、水素原子又は式 (II)：

## 【誤訳訂正 11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0111

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0111】

{ 式中、Z は、1 個又は複数個の炭素原子と、所望により、窒素、酸素、硫黄、ハロゲン、ケイ素、及びリン原子のうちの一つ又は複数とを含む一価有機基である } の一価基であ

り；そして  
n は 2 以上の整数である ]  
の化合物との反応生成物を含むゴム組成物